

高校生による橋梁点検 体験実習を開催

国土交通省では、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するべく、中長期的な取組の方向性を明かにするため、インフラ長寿命化行動計画を策定しました。

行動計画では、メンテナンスサイクル（点検→診断→措置→記録）を構築・継続的発展させることが示されており、現状把握のための点検の技術向上が求められています。

上記を踏まえ、山形県道路メンテナンス会議庄内地区会議では、道路インフラのメンテナンスに関わりを持つことが期待される高校生を対象に、維持管理の現状や老朽化対策について理解を深めていただくため、身近な橋梁における橋梁点検体験実習を開催します。

【橋梁点検 体験実習】

- 日 時：平成26年10月 7日（火）
16時00分～17時00分
- 参加者：山形県立酒田光陵高等学校3年生 10名程度
- 点検橋梁：国道7号新井田川橋（下り線側）
- スケジュール：16：00 酒田河川国道事務所大会議室にて説明
16：25 橋梁点検開始
16：55 橋梁点検終了・講評
17：00 解散 ※時間は目安です
- 実習内容：①橋台のひび割れ状況確認及び、点検ハンマーによる打音点検
②橋梁点検車を使用した、床版のひび割れ状況確認、及び点検ハンマーによる打音点検
③桁及び支承の腐食状況確認

【取材について】

- 駐車スペース確保のため、車でお越しの際は、あらかじめご連絡をお願いします（酒田河川国道事務所に駐車いただきます）
- 足元が悪い状況でも支障とならないよう、長靴等を各自でご準備願います

発表記者会：酒田記者クラブ、鶴岡記者会、
FM山形、酒田FM、コミュニティしんぶん

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所
道路管理課長 加藤 恒 TEL 0234-27-3331（代表）
山形県立 酒田光陵高等学校
環境技術科 教諭 伊藤 克之 TEL 0234-28-8833（代表）

位置図



新井田川橋現況写真

側面



橋梁点検車による点検 (H 21 点検時)

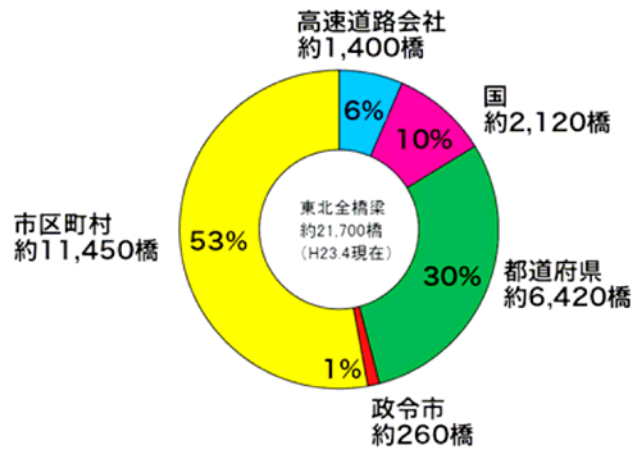


道路施設の老朽化の現状

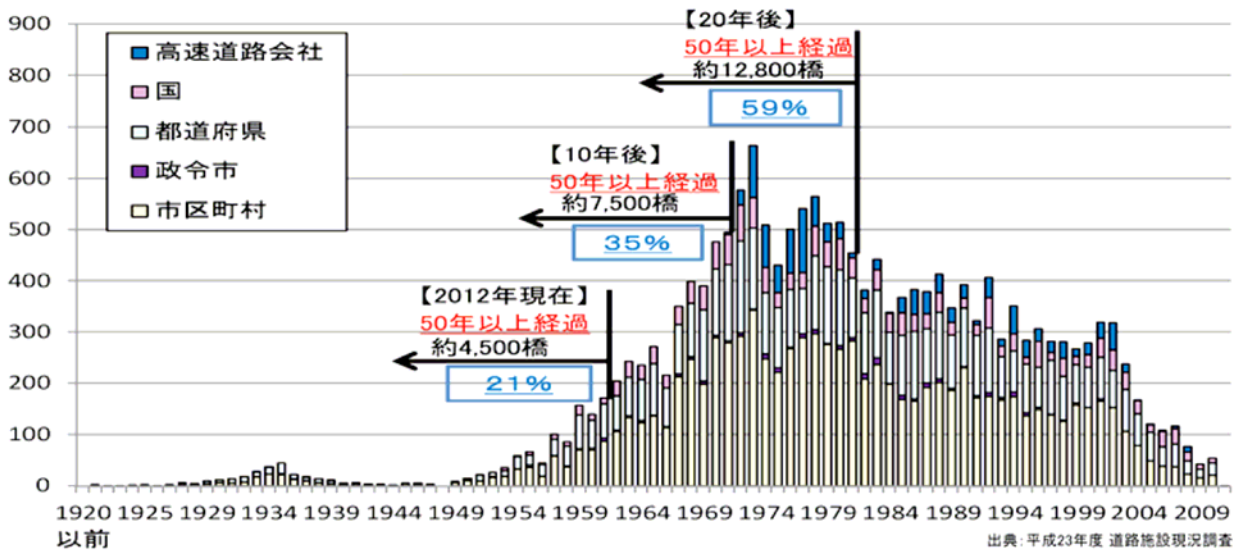
東北地域における 橋の老朽化の現状

■ 東北地域の道路橋(15m以上)は約2.2万橋ありますが、高度経済成長期に集中して建設されたため、**建設後50年以上の割合は、現在21%ですが、10年後には35%、20年後には59%に急増します。**

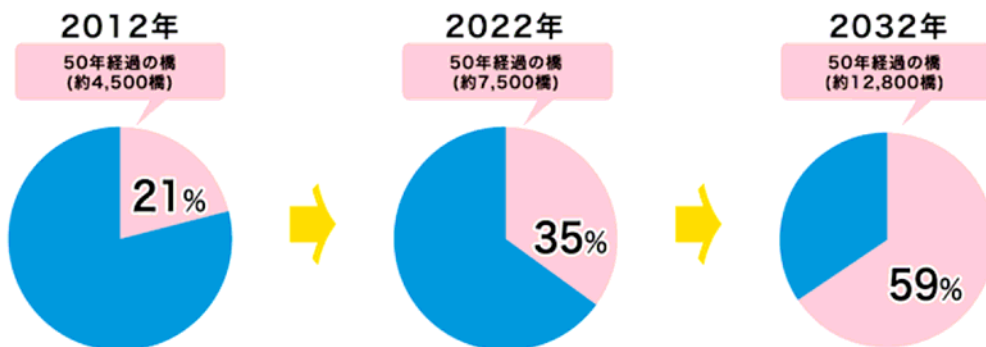
【道路管理者別橋梁数】



【建設年度別橋梁数】



【建設後50年を経過する橋の割合の遷移】



道路施設の適切な 維持管理に向けた取組み

- 道路施設は、定期的な巡視・点検で早期に健全度を正確に把握し、対策内容や時期、優先順位等を「長寿命化計画」として策定し、実施することで、施設の長寿命化と補修費用の縮減ができます。

< 基本的な事項 >

予防的な保全を目指した
維持管理

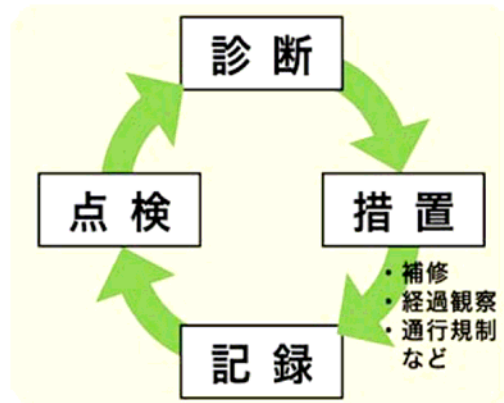
予めその頻度を定めた
計画的な点検の実施

構造物の健全度を
一定の尺度で診断

点検、診断、措置
の記録作成、保存など

メンテナンスサイクル

「点検⇒診断⇒措置⇒記録」の業務サイクルを通して、予防的な保全を進めるメンテナンスサイクルを構築



反映 ⇕ 充実

長寿命化計画

計画的かつ戦略的に維持・管理・修繕を推進するため、「①点検・評価を実施」、「②計画に基づき着実に修繕等を実施」、「③新技術の活用等により、点検・評価の精度や、修繕等の効率性、実効性を向上」を不断に進めていくことが必要です。

